

華

第57号

令和元年7月発行

メモリアルな宴
会にという思いから、法人行事「花見・花祭り」などでお世話になってる春日商店街の老舗「みよし寿司」

は締め括りに施設長の挨拶により幕を閉じました。
5月に元号が「令和」となり、新しい時代が始まりました。真華苑は多くの皆様の温かいご支援とご協力により40周年を迎えることができました。今後もご利用者をはじめ、地域の皆様、関係各位のご支援を賜りながら、新時代を職員一同気持ち一つに歩んで参りたいと決意を新たにしております。

真華苑は令和元年6月に創立40周年を迎え、20日(木)にとても素敵なお客様方をお迎えし、華やかにお祝いを開催しました。
開会にあたって理事長が皆様への感謝の気持ちをお伝えするとともに、創立の経緯などの紹介を交えて挨拶を申し上げ、続いてお祝いに駆けつけて頂きました歌手の真奈尚子様そして北川整骨院の中原孝太郎様からお祝いの温かいお言葉を頂戴しました。
記念宴会のプロローグとして、大正琴・歌クラブ初のコラボ出演として童歌「茶摘み」の演奏と合唱を発表しました。どなたにも懐かしいメロディが流れ、クラブのメンバーの軽快な歌声が響くと会場の皆さんも引き込まれるように歌って下さり、大合唱となり大いに盛り上がりました。
記念の雰囲気広がる中、真華苑の創立月と同じ6月生まれの方の4名の方をご紹介します。ご代表で本村照代様に乾杯のご発声をして頂き和やかに会食が始まりました。

体操クラブによる
全員体操

真華苑 創立40周年を寿ぐ



大正琴・歌クラブの
コラボ演奏
半身を使った体操をして頂くプログラムでしたので、演技が会場全体に広がって、またまた会場全体に一体感が生まれました。
例年の創立記念日お祝いの会場でご利用者が楽しみにされている「職員の出し物」として、今年、チーム対抗戦の「借り物・飴食い競争」を行いました。ご利用者の助けを借りての真剣勝負は白熱し、会場内は応援の熱気に包まれましたが、負けたチームは罰ゲームとして、辛子入りデザートを食べることで、辛子入り涙目で次回の雪辱を誓いました。笑いあり、涙ありのお祝い会

猛暑の季節がやってきました。中国の五行説では、夏の色は「朱」だそうですが、いかにもという感じがします。
近年、気温は上昇傾向にありますが、今年も5月に北海道で観測史上初の猛暑日(35℃以上)が到来するなど、毎年のように気候の「初物づくし」が見られます。最低気温が25℃以上の夜間は熱帯夜と定義され、35℃以上は、俗に「超熱帯夜」と言われ、ここ二、三年の間でも東京、福岡などで記録されています。
この時期は体調管理が大切です。中でも熱中症対策は欠かせません。「水分をこまめに、塩分をほどよく取り、(寝具の工夫、エアコン・扇風機の活用等により)睡眠環境を快適に保ち、ぐっすり眠ること」が猛暑を乗り切るための基本です。
一方、この季節は夏のイベントが用意されています。各事業所での「夏祭り」などで存分にお楽しみ下さい。厳しい夏を健康に過ごし、皆さん笑顔で清々しい秋の季節を迎えたいものです。

音楽療法事業のご紹介

静華苑



平成30年の秋華祭で3先生と理事長・浅野副施設長
(右から朝野、橋本、柚木各先生)

音楽療法事業は、ご利用者の健康増進や心身の安定を目的として実施しているのですが、デイサービスセンター静華苑の歴史は長く、今年で24年目を迎えました。
平成26年からは、日本音楽療法学会認定音楽療法士の橋本加寿、柚木たまみ、そして朝野典子の3人の先生方が交代で週2回、ご利用者のそれぞれのお好みや持ち味を生かして頂きながら素晴らしい音楽・歌謡のひと時を醸しだして頂いています。
橋本先生はピアノ、柚木先生は声楽、朝野先生は作曲学科楽理をそれぞれご専攻で、先方のご専門を活かした巧みなご指導とピアノ伴奏にあわせ、季節の歌をはじめ、唱歌、流行歌など様々なジャンルの歌を合唱し、あるいはソロで楽しませて頂いています。併せてその歌が流行した時代を振り返りながら、それぞれの胸の内にある懐かしい気持ちを味わうことのできるこの時間が皆さん大好きです。「音楽療法があるから静華苑に行くのが楽しみです」と目を輝かせる方

静華苑の音楽療法は、毎週月・火曜日のそれぞれ13時から始まります。飛び入りも大歓迎です。興味のある方は一緒に楽しい午後のひとときを過ごしてみませんか。スタッフ一同、お待ちしております。
静華苑の音楽療法は、毎週月・火曜日のそれぞれ13時から始まります。飛び入りも大歓迎です。興味のある方は一緒に楽しい午後のひとときを過ごしてみませんか。スタッフ一同、お待ちしております。

も少なくありません。
またご利用者からのリクエストに、先生が音程や速さ等を歌いやすいように調整して伴奏をして下さる「のど自慢コーナー」はそれぞれの持ち味やお人柄が滲み出て、職員もつい聴き入ってしまうことがしばしばです。また、「これまで人前で歌ったことがない」とおっしゃっていた方で、初めてコーナーに挑戦して大いに自信を付けた方もいらっしゃいます。
今年も、11月1日開催予定の法人行事「秋華祭 文化発表会」の大舞台での発表に向けて、素晴らしい歌声を茨木市民の皆様にお届けできるように、これから秋にかけて練習を積み重ねていく予定です。

元田元主幹が定年退職

後任には岡村主幹



岡村主幹



元田元主幹

法人本部の元田淑夫元主幹が平成31年3月末日で定年退職をされました。同主幹は、昭和57年4月から37年の長きにわたり慶徳会で活躍頂き、職場も光華苑を皮切りに静華苑、常清の里、しみず、光華・春菊苑など多くの事業所の幹部職員も歴任されました。法人本部では、全事業所運営に関わる裏方のリーダーとして手腕を発揮されました。本当にご苦労様でした。
なお、後任は岡村美範主幹で、他の法人事業所で経験を重ねられた大ベテランをお迎えしました。

西河原多世代交流センターでは、平成最後の月となる4月4日(木)、「センターふれあいサロン」として「お花見交流会」を開催しました。

未だ肌寒さを感じる気温の中、天候が気懸りでしたが、当日は、絶好のお花見日和となり、「皆さん、日頃の行いが良いので晴れましたねー!」と冗談を交えながら参加15名の皆さんが笑顔で西河原公園に向けセンターを昼前に出発しました。

公園では、満開の桜の下、お花見弁当に舌鼓を打ちながら、ボランティアの岡本様のギター伴奏で懐メロや唱歌を唄い、会話を楽しむなど、桜花爛漫の雰囲気の中、和やかで華やいだひとときを過ごしました。帰り際には、桜を見上げながら、「来年も来たいなあ。」「みんな元気でいなくね。」と、早くも来年のお花見に思いをはせる様子も見られました。

今回のイベントは、主に中高年を対象とした企画でしたが、センターでは、多世代の方が参加して頂けるイベントを数多く開催しています。昨年は残念ながら震災により中止のやむなきに至りました。「きもだめし大会」や大学・高校生の皆さんのご協力を得て実施する「夏休みの学習サポート」(今年は追手門学院の皆さんにもお力添え頂く予

満開の桜の下で
晴れやかな笑顔で記念写真



ボランティアの岡本様の
ギター演奏で合唱を楽しむ皆さん



定です。)、また、シニア世代のご支援による「英会話教室」等、「地域の皆様が繋がる」をモットーに少しでも地域福祉の一助となるよう、イベント開催などを通じ地域貢献に努めて参ります。



希望を胸に!!

入進学卒業就職
お祝い会

3月21日 常観堂のご仏前で、平成30年度の入進学卒業就職お祝い会が執り行われました。今年は、幼稚園入園児4名、小学校入学児童4名、中学校入学生徒4名、高校入・進学生7名、高校卒業就職者2名の皆さんが、それぞれの進路を進むこととなりました。子ども達の成長を見守ってきてくださったご高齢者から、手作りのプレゼントと温かい励ましの言葉をプレゼントされた子ども達は、希望に満ちた笑顔で、お礼の言葉と歌を披露してくれました。



小学校入学の子ども達にお祝い品を贈り、
祝福される光華苑ご利用者

～子供の家～

令和元年5月26日(日) 夏を思わせる強い日差しの中、2歳から高校3年生までの子ども達38名に職員を含め、総勢58名で本山を参拝させて頂きました。皆で元気良く『正信偈』のお勤めをし、『私たちのちかい』を唱和しました。

お参りの後の爽やかな気持ちに浸りながら、恒例の、各グループに分かれての京都散策に出かけました。幼児さんは市内の水族館や動物園見物で、イルカショーや迫力満点のトラやライオンに大喜びでした。また学童さんは、河原町でショッピングや食べ歩きを楽しんだり、太秦映画村で「江戸」の町並みを見学しながら、侍や忍者と出会ってタイムスリップ気分を味わったり、レンタル自転車で伏見稲荷神社まで遠出のサイクリングに挑戦したりするなど、どの子も充実した1日を過ごすことができました。



太秦映画村で「江戸」の町並みを見学する子ども達



本山参拝

ほんさん参拝



お参りの後御影堂の前で記念撮影

晴れやかに本山参拝 ～法人内高齢者施設～

令和元年6月13日に光華苑、真華苑、はぎ、ききょう、なでしこ、見付山めぐみの里及び常清の里ご利用者27名の皆さんを初め、総勢47名で西本願寺(本山)に参拝しました。

大型バスに揺られ、本山到着後まず「国宝「書院」を拝観させて頂き、わが国有数の文化財の重厚な佇まいに感動しました。

勤行は、「御影堂」で厳かな雰囲気の中、皆さんそれぞれに思いを込めてお参りさせて頂き、その後御影堂の前で全員での記念撮影をしました。最後にあいにく修復中でしたが国宝「飛雲閣」の拝観もさせて頂き晴れやかな心境で本山を後にしました。

昼食は「ホテル東山閣」でホテル一押し「和御膳」に舌鼓を打ち、食後はお土産選びに大わらわのショッピングを楽しみました。

引続いて「八つ橋庵とししゅうやかた」で八つ橋作りを体験し、自らが生地を伸ばして餡を包んだ八つ橋の味には格別の風味が感じられ、笑顔溢れる時間となりました。

本山社会部の皆様を初め多くの方のご協力を得て、今年も充実した時間を過ごすことができました。厚く御礼申し上げます。

(合掌)